

東広島市では、広島大学の総合移転を核とした学園都市づくりを進めており、併せて周辺の景観と調和した美しい道づくりを進めている。この「ブルーパール」の周辺は都市活動の中心部にあたり、行政機関や商業施設が多いため、緑に囲まれたショッピングモール的な景観の創出を目的に整備を行ったものである。

施工に際しては、酒づくりの町として知られる西条の赤瓦と白壁のイメージを郷土色として、標識や照明施設、歩道のカラーブロック等に取り入れている。また、車道との境には防護柵を設けず植え込みにしたり、バスの停留所には市の木であるマツの植栽を行い、酒蔵を模した電話ボックスを設置するなどしており、郷土の情景を醸し出した美しい道路は、市民に親しまれている。



所在地	広島県東広島市西条栄町
諸元	延長：1,710m、幅員：38m
関係する施設など	植樹、街路灯、電話ボックスほか
材料	擬石平板舗装ほか
イベント	東ロードレース大会、土曜夜市、酒祭り